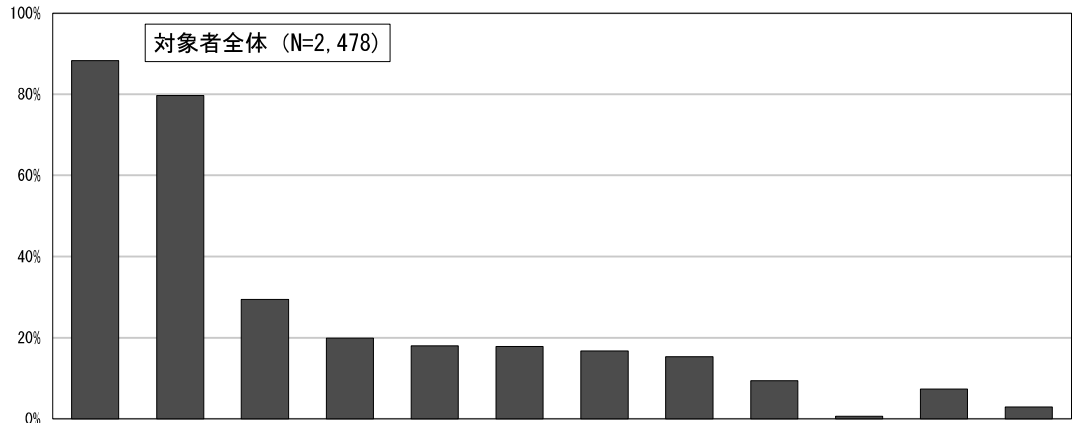


(2) 障がい者コミュニケーション条例等について

◇障がいのある方が使用するコミュニケーション手段の認知度

問5 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がいのある方が使用するコミュニケーション手段は「手話」と回答した人が88.3%



対象者数		手話	点字	指点字	手のひら書き	口文字	要約筆記	音訳	意思伝達装置	触手話	その他	特になし	無回答
(%)													
対象者全体		2,478	88.3	79.7	29.4	18.0	17.8	16.7	15.3	9.4	0.6	7.3	2.9
性別	男性	1,004	86.7	78.0	27.7	13.2	16.6	12.5	13.3	7.4	0.6	9.4	2.6
	女性	1,416	90.0	81.3	30.6	22.7	21.3	18.7	19.6	16.7	10.7	0.7	5.4
	その他	8	75.0	75.0	37.5	25.0	12.5	37.5	25.0	37.5	12.5	-	25.0
年代別	29歳以下	210	95.7	88.6	38.6	34.3	30.5	26.2	23.8	20.5	12.9	-	2.9
	30~39歳	252	93.3	88.9	40.5	31.0	23.0	19.4	25.4	23.4	12.3	0.4	4.0
	40~49歳	418	94.3	85.9	34.7	20.6	20.6	22.2	15.3	20.1	8.6	0.7	4.1
	50~59歳	419	93.3	88.1	31.5	19.6	17.2	16.5	19.1	16.9	10.3	0.7	5.0
	60~69歳	491	91.9	82.9	26.9	17.9	17.1	14.9	16.3	13.6	10.8	0.8	5.1
	70歳以上	642	74.8	61.8	19.2	12.0	11.5	15.0	10.7	7.8	6.1	0.8	14.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がいのある方が使用するコミュニケーション手段の認知度は、「手話」が88.3%、「点字」が79.7%、「指点字」が29.4%となっている。

【性別】「手のひら書き」、「口文字」、「音訳」は女性が男性より7ポイント以上高くなっている。

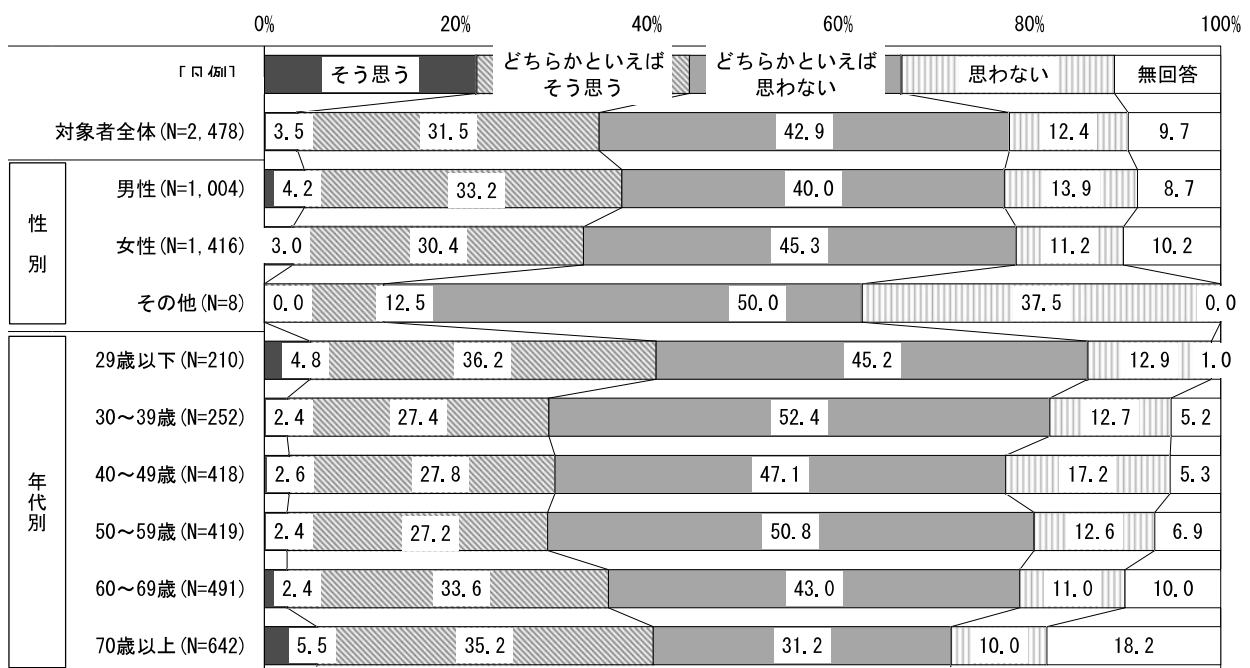
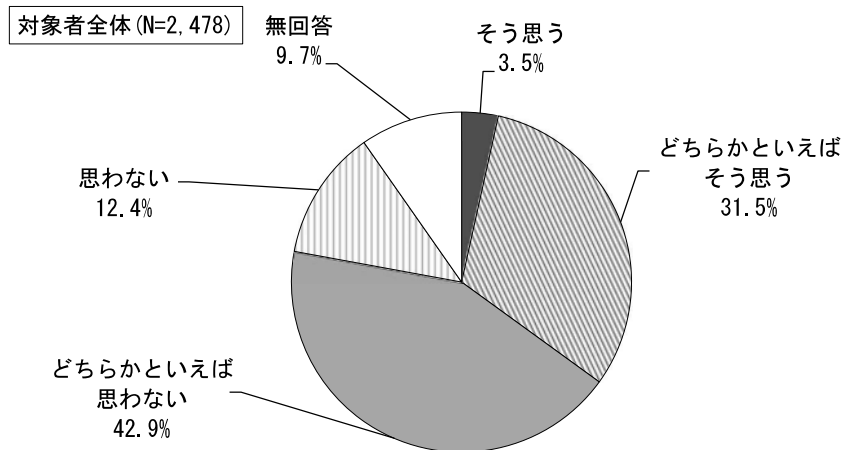
【年代別】「指点字」が30歳代(40.5%)で最も高く、最も低い70歳以上(19.2%)と比べると21.3ポイントの差となっている。また、70歳代では「手話」、「点字」、「指点字」が対象者全体より10.0ポイント以上低くなっている。

◇障がいのある方が情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思うか

問6 あなたは、現在の札幌市は、コミュニケーション上の障がいのある方が、情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思うかについて“そう思う”と回答した人が35.0%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）



【全体】障がいのある方が情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思うかは、「そう思う」が3.5%、「どちらかといえばそう思う」が31.5%、合わせると35.0%となっている。一方、「どちらかといえば思わない」が42.9%、「思わない」が12.4%、合わせると55.3%となっている。

【性別】「どちらかといえば思わない」は女性が45.3%と、男性の40.0%より5.3ポイント高くなっている。

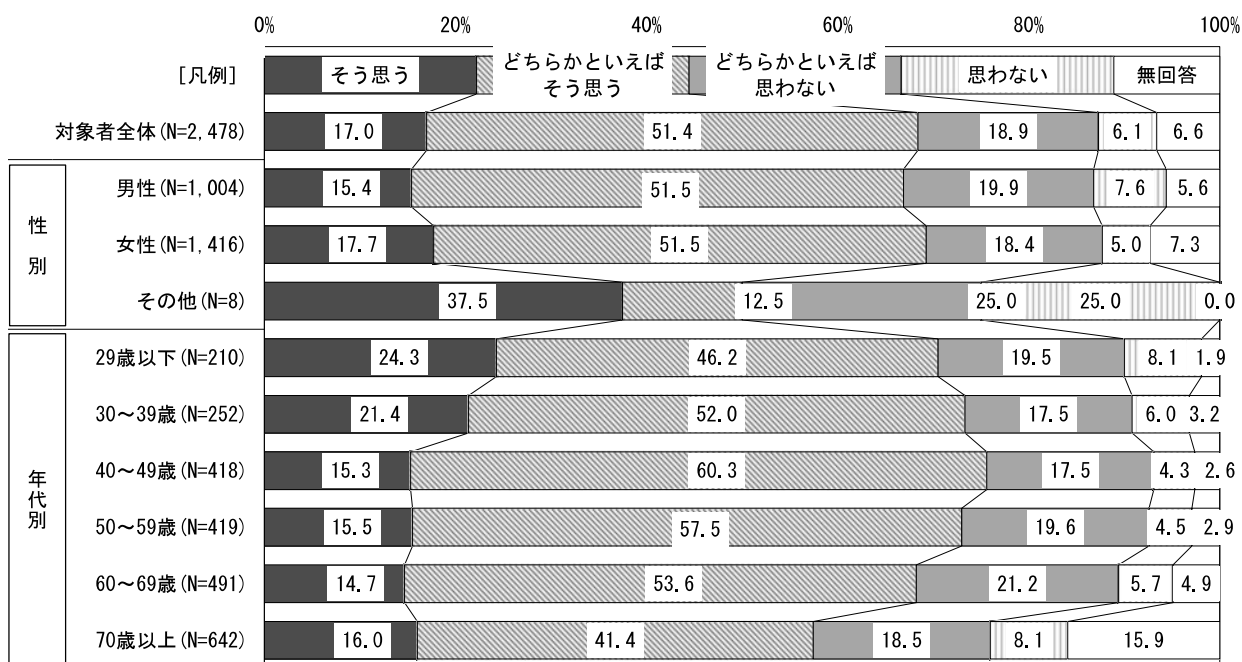
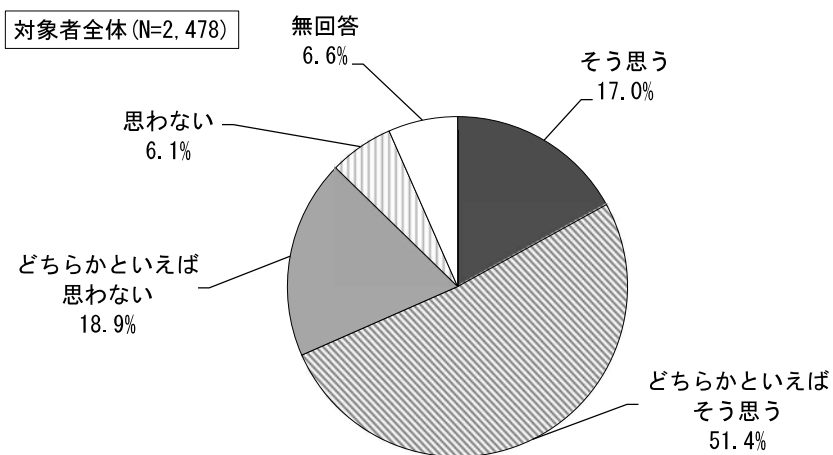
【年代別】“そう思う”が29歳以下(41.0%)で最も高く、次いで70歳以上(40.7%)、60歳代(36.0%)となっている。

◇障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うか

問7 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何かに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかについて“そう思う”と回答した人が68.4%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）



【全体】障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかは、「そう思う」が17.0%、「どちらかといえばそう思う」が51.4%、合わせると68.4%となっている。一方、「どちらかといえば思わない」が18.9%、「思わない」が6.1%、合わせると25.0%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

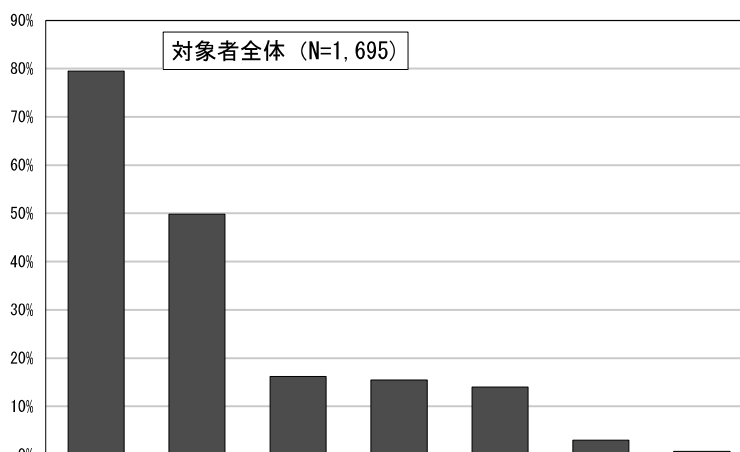
【年代別】“そう思う”が40歳代(75.6%)で最も高く、次いで30歳代(73.4%)、50歳代(73.0%)となっている。

◇障がいのある方が暮らしやすいまちをつかっていくために取り組みたいこと

《問7で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。》

問7-1 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつかっていくため、市民として具体的にどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がいのある方が暮らしやすいまちをつかっていくために取り組みたいことは「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」と回答した人が79.5%



対象者数		対象者数	日常生活の場面で困っている方がいたら助ける (%)	メディアの中で、障がいに関する情報があれば気を配る (%)	障がいのある方が行う行事、催し物に参加する (%)	ボランティア活動へ参加する (%)	講座に参加するなど、障がいのある方のコミュニケーション手段を学習し、実践する (%)	その他 (%)	無回答 (%)
対象者全体		1,695	79.5	49.8	16.2	15.5	14.0	3.0	0.7
性別	男性	672	76.0	49.6	15.5	13.2	11.9	2.2	0.7
	女性	980	82.6	50.2	16.5	17.0	15.5	3.7	0.7
	その他	4	75.0	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-
年代別	29歳以下	148	79.1	54.1	12.8	12.8	13.5	2.0	0.7
	30~39歳	185	84.3	50.3	17.8	12.4	14.6	3.8	-
	40~49歳	316	80.7	52.2	15.2	12.3	15.8	4.1	0.3
	50~59歳	306	81.0	52.3	16.0	18.6	16.7	2.3	-
	60~69歳	335	80.6	51.3	17.9	19.7	14.3	2.4	0.6
	70歳以上	369	75.9	43.1	16.3	14.4	10.0	3.5	2.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がいのある方が暮らしやすいまちをつかっていくために取り組みたいことは、「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」が79.5%、「メディアの中で、障がいに関する情報があれば気を配る」が49.8%、「障がいのある方が行う行事、催し物に参加する」が16.2%となっている。

【性別】「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」は女性が82.6%と、男性の76.0%より6.6ポイント高くなっている。

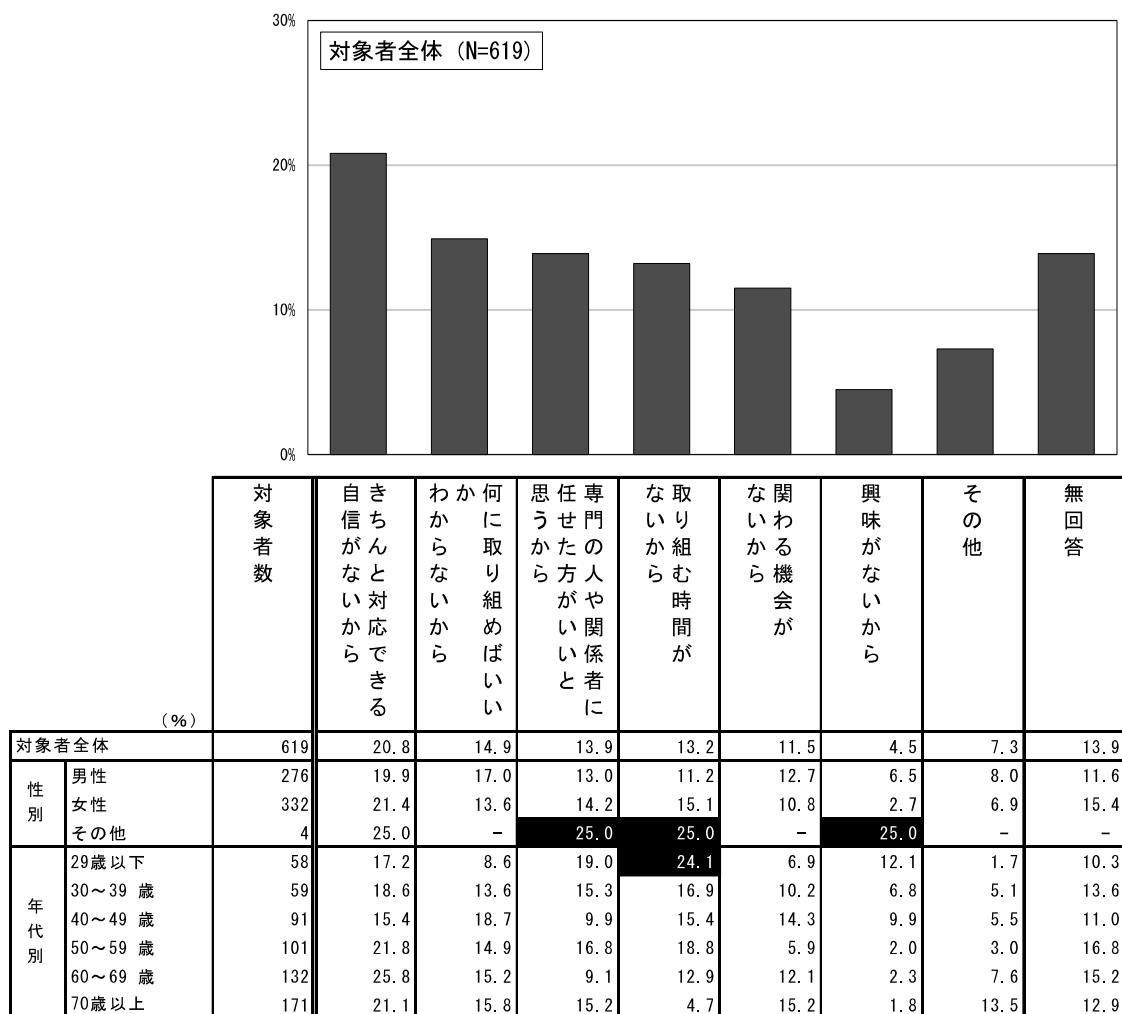
【年代別】「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」が30歳代(84.3%)で最も高く、次いで50歳代(81.0%)、40歳代(80.7%)となっている。

◇障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思わない理由

《問7で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」と答えた方にお聞きします。》

問7-2 あなたが、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何か取り組みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思わない理由は「きちんと対応できる自信がないから」と回答した人が20.8%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思わない理由は、「きちんと対応できる自信がないから」が20.8%、「何に取り組めばいいかわからないから」が14.9%、「専門の人や関係者に任せたいから」が13.9%となっている。

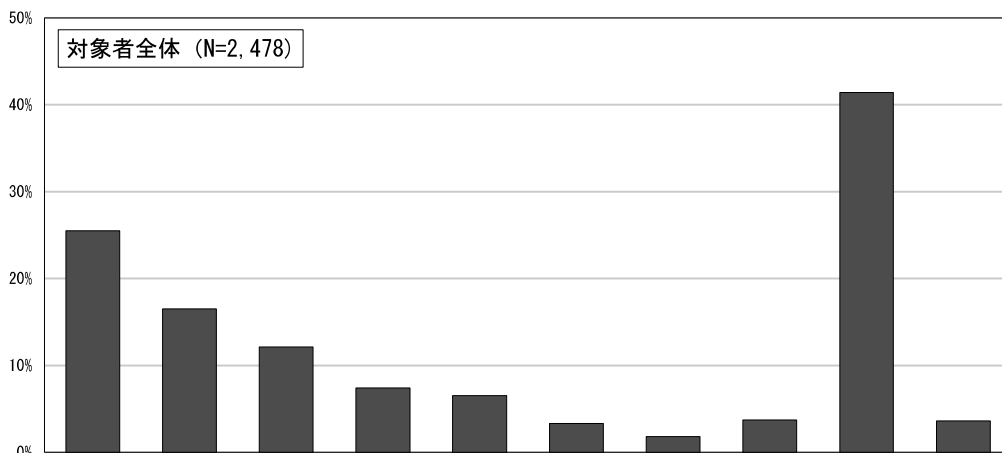
【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「きちんと対応できる自信がないから」が60歳代(25.8%)で最も高く、次いで50歳代(21.8%)、70歳以上(21.1%)となっている。

◇障がいのある方との関わり

問8 あなたと障がい（身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい）のある方との関わりについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がいのある方との関わりについて「家族や親戚に障がいのある方がいる」と回答した人が25.5%



対象者数 (%)		対象者数	家族や親戚に障がいのある方がいる (%)	友人や知人に障がいのある方がいる (%)	職場に障害のある方がいる (%)	相手先（顧客や取引先）の障がいがある (%)	自分自身に障がいがある (%)	施設や支援団体で障がいがある方と関係が深い (%)	サークルやボランティアなど関係が深い (%)	その他 (%)	身近に障がいのある方はいない (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,478	25.5	16.5	12.1	7.4	6.5	3.3	1.8	3.7	41.4	3.6
性別	男性	1,004	24.8	16.6	12.6	7.6	8.7	2.5	2.0	2.7	42.8	2.9
	女性	1,416	26.1	16.1	11.8	7.2	4.9	4.0	1.8	4.3	40.6	4.1
	その他	8	37.5	37.5	12.5	-	25.0	-	-	12.5	25.0	-
年代別	29歳以下	210	18.6	20.5	16.2	8.1	7.1	5.7	2.4	1.9	49.0	0.5
	30～39歳	252	27.4	23.4	20.2	9.1	6.3	2.8	1.6	4.4	34.9	1.6
	40～49歳	418	29.4	16.3	18.4	10.8	4.8	3.3	1.4	3.8	38.8	1.9
	50～59歳	419	26.0	13.1	13.8	11.9	5.7	4.1	1.2	4.1	39.4	1.7
	60～69歳	491	27.1	15.9	11.8	5.9	6.7	3.7	2.0	4.3	40.5	2.9
	70歳以上	642	23.4	15.0	2.6	2.2	8.3	2.0	2.3	3.1	45.3	8.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がいのある方との関わりは、「家族や親戚に障がいのある方がいる」が25.5%、「友人や知人に障がいのある方がいる」が16.5%、「職場に障害のある方がいる」が12.1%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「家族や親戚に障がいのある方がいる」が40歳代（29.4%）で最も高く、次いで30歳代（27.4%）、60歳代（27.1%）となっている。